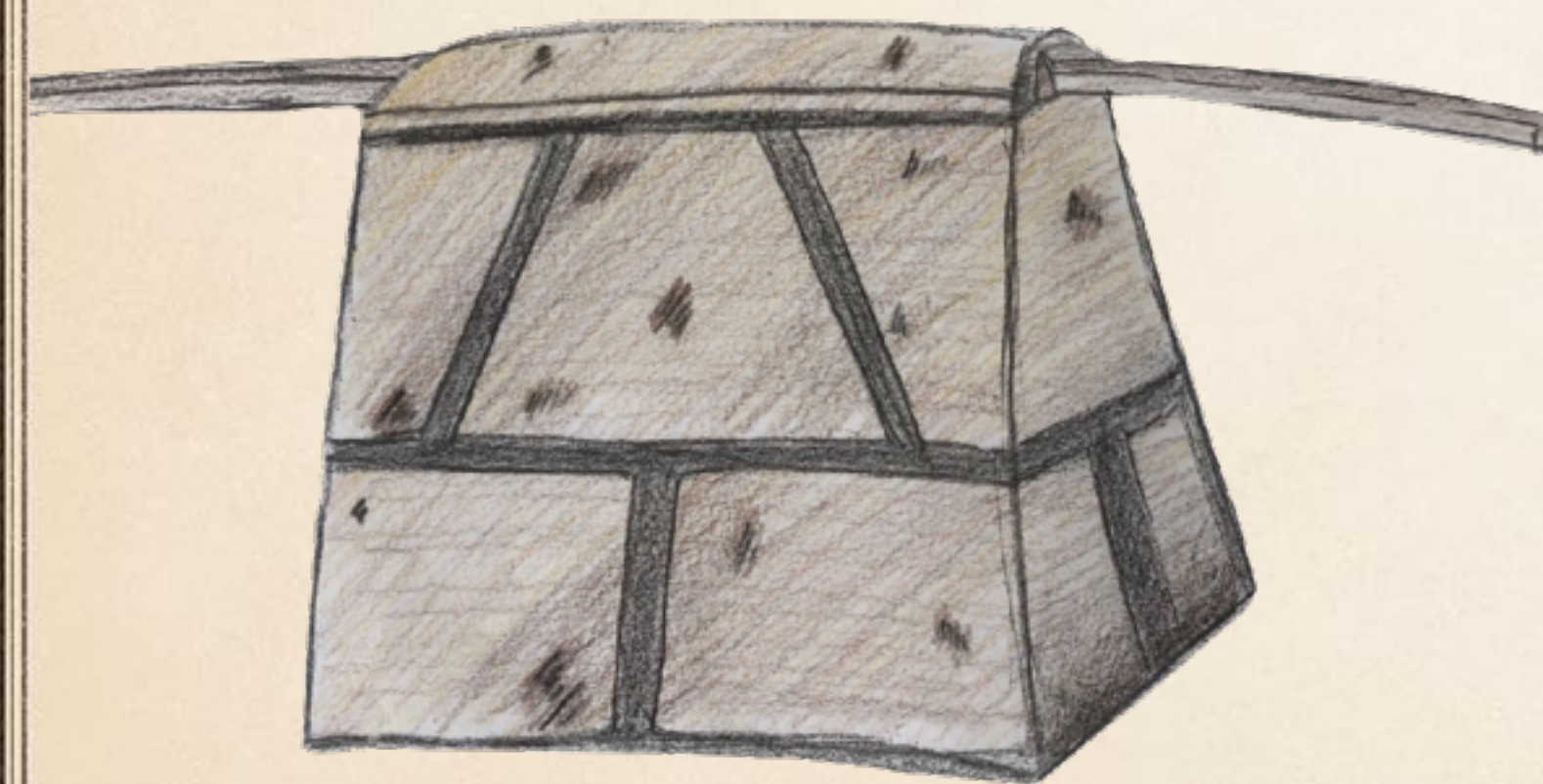




おお え ど
大江戸 ロック 2020



ある日、子どもたちが学校からの帰り道を歩いていると、
古いカゴが落ちていました。



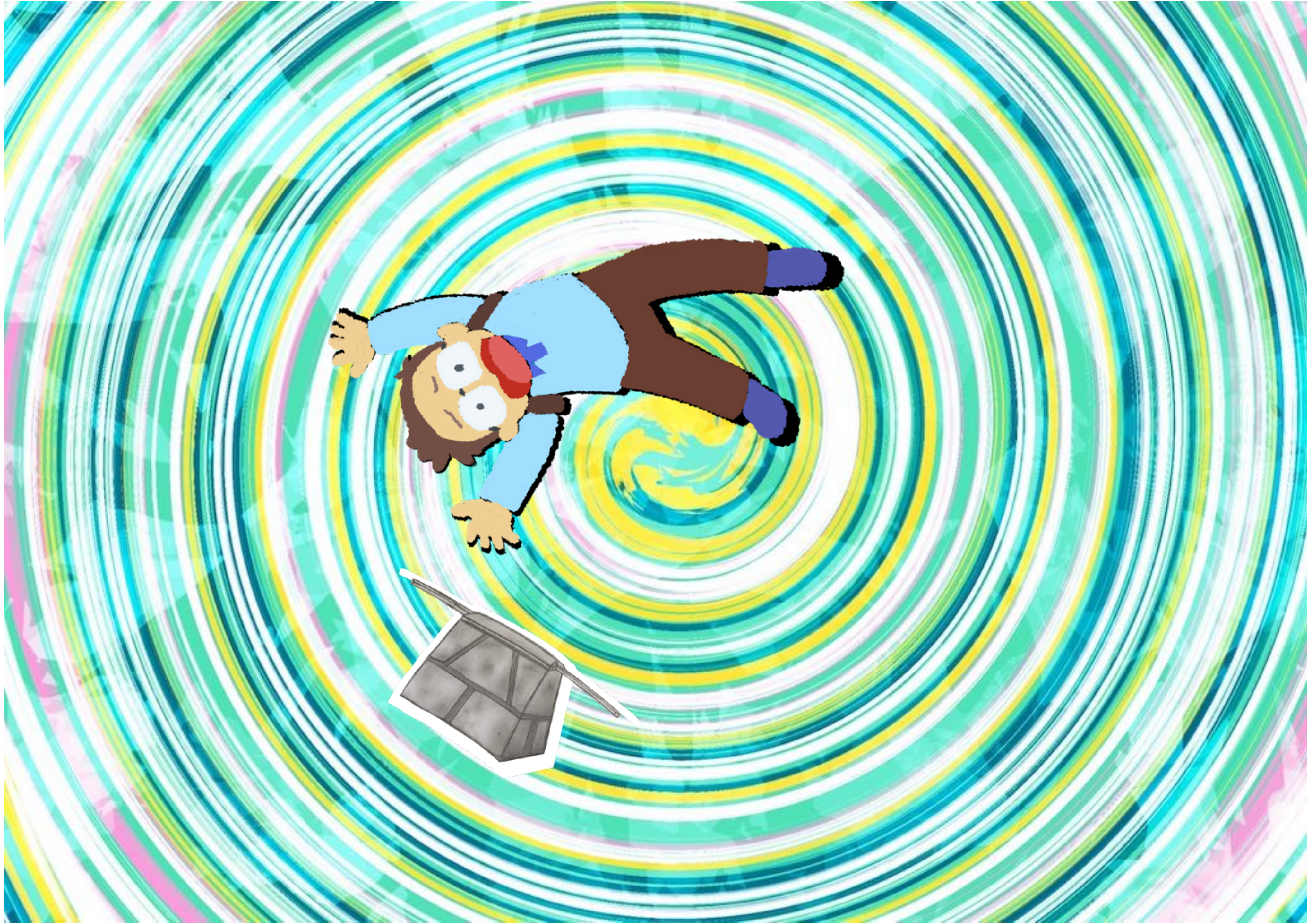


その古い^{ふる}カゴをひとりの子^こがさわると・・・

その子^こが古^{ふる}いカゴと一^{いっ}緒^{しょ}に消^きえてしま^います。



たすけてー。



カゴのあつたところに不思議な裂け目が。
子どもたちは友達を助けるため
勇気を出して裂け目に飛び込みます。



裂^さけ目^めを抜^ぬけた先^{さき}は

昔^{むかし}の日本^{にっぽん}

江戸^{えど}時代^{じだい}の町^{まち}。

この時代^{じだい}も

はやり病^{やまい}

が広^{ひろ}がっていました。



町に代官^{まち だいかん}たちがやってきます。

手下^{てした}たちが町^{まち}の人^{ひと}たちから いろんなものを

取り^とあげていきます。

あのカゴも代官^{だいかん}たちが持^もっていつてしまったようです。





遠くから^{とお}楽し^{たの}そうな^{おんがく}音楽^きが聞こえてきます。

はやり病^{やまい}で

落ち込^おむ町^{まち}の人^{ひと}たちの楽^{たの}しみは

チンドン屋^やたちの楽^{たの}しい音^{おん}楽^{がく}とダンス。



チンドン屋^やたちから連れ去^さられた友^{とも}だちと
カゴの行き先^{さき}を聞^きいた子^こどもたち。
代官^{だいかん}たちを追^おいかけることにしました。





カゴを追^おいかけて山^{やま}までやっ^やってきました。

その時^{とき}です。



その時^{とき}です。

とつぜん^{とつぜん}にんじや^{にんじや}あらわ^{あらわ}突然忍者が現れ、
行く手^{ゆくて}を邪魔^{じゃま}します。

ピンチ^{ピンチ}!!



あぶない！！

待^まてっ！！

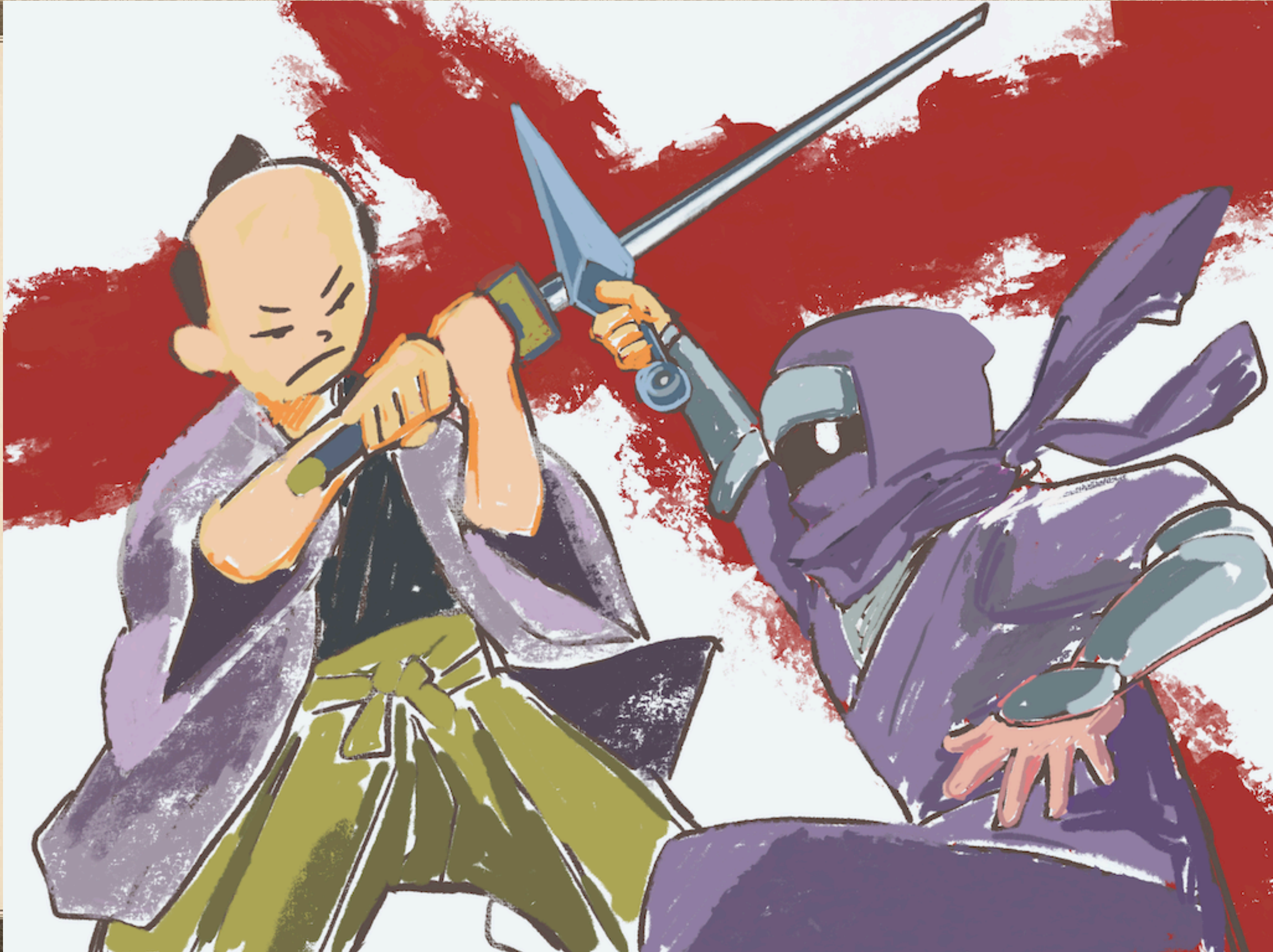
お侍^{さむらい}さんたちが助け^{たす}に来て^きくれました。



あぶない！！

待^まてっ！！

お侍^{さむらい}さんたちが助け^{たす}に来て^きくれました。



お侍^{さむらい}さんに助^{たす}けてもらい、忍^{にんじや}者^{もの}たちと
話^{はなし}をすることができました。

忍^{にんじや}者^{もの}たちは、カゴと一^{いっしょ}緒^{しょ}に忍^{にんじや}者^{もの}の村^{むら}からいなくなつた
ある人^{ひと}をさがしているのです。



おな
同じカゴをさががしていることが わかつたので
いっしょ だいかんやしき
一緒に代官屋敷に行くことになりました



よる
夜になつた頃

にんじや あんない
忍者の案内で無事山をこえて
だいかんやしき
代官屋敷にたどり着くことができました。



代官屋敷につき、代官に友だちを
返してくれるようお願いしますが、
代官は返してくれません
それどころか・・・



であえ、であえ！！

戦^{たたか}いを挑^{いど}まれてしまいます。



忍^{にん}者^{じゃ}と家^け来^{らい}





さむらい けらい はげしくたたか
侍と家来が激しく戦います。

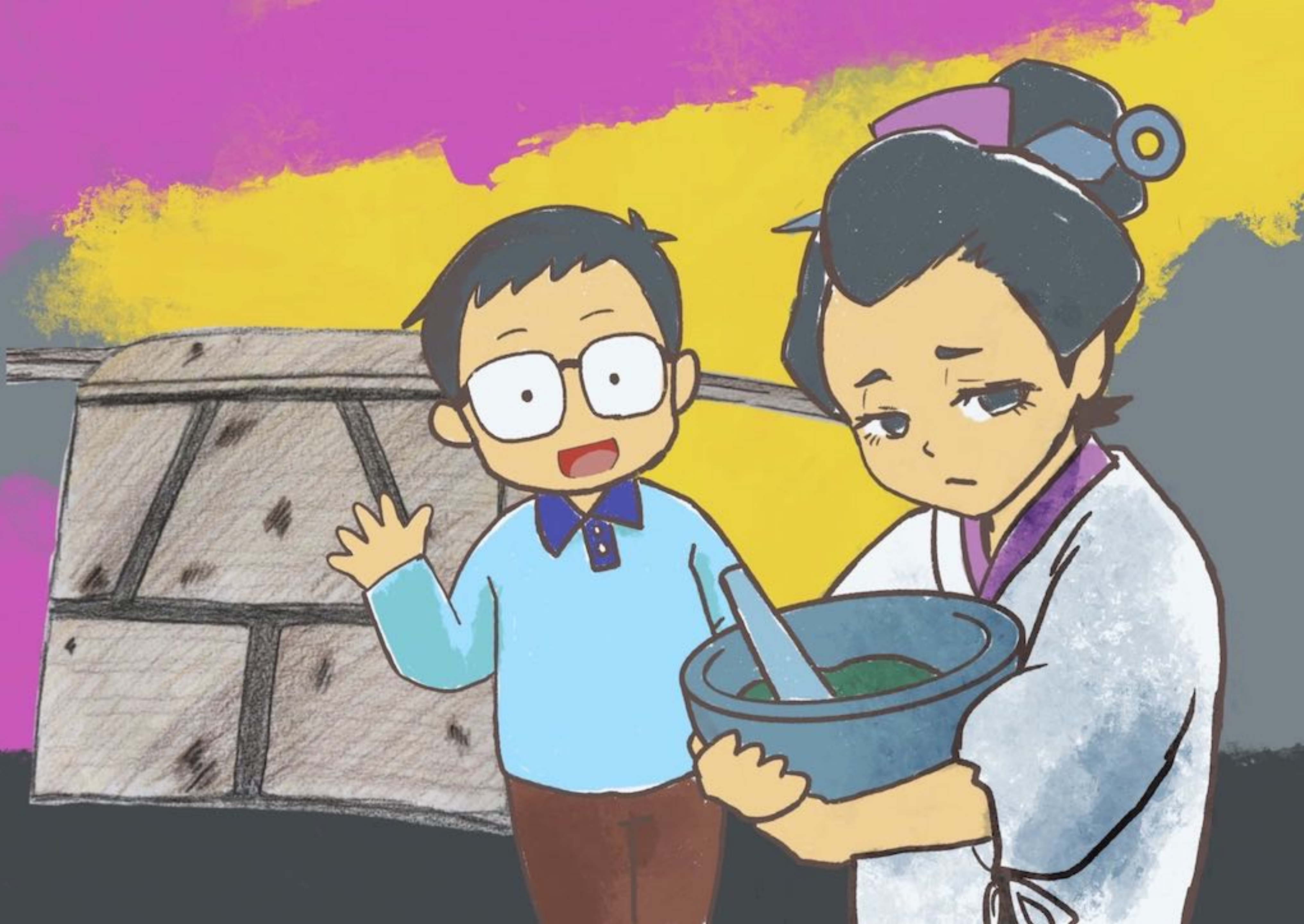
どちらも、一歩もゆずりません
いっぽ

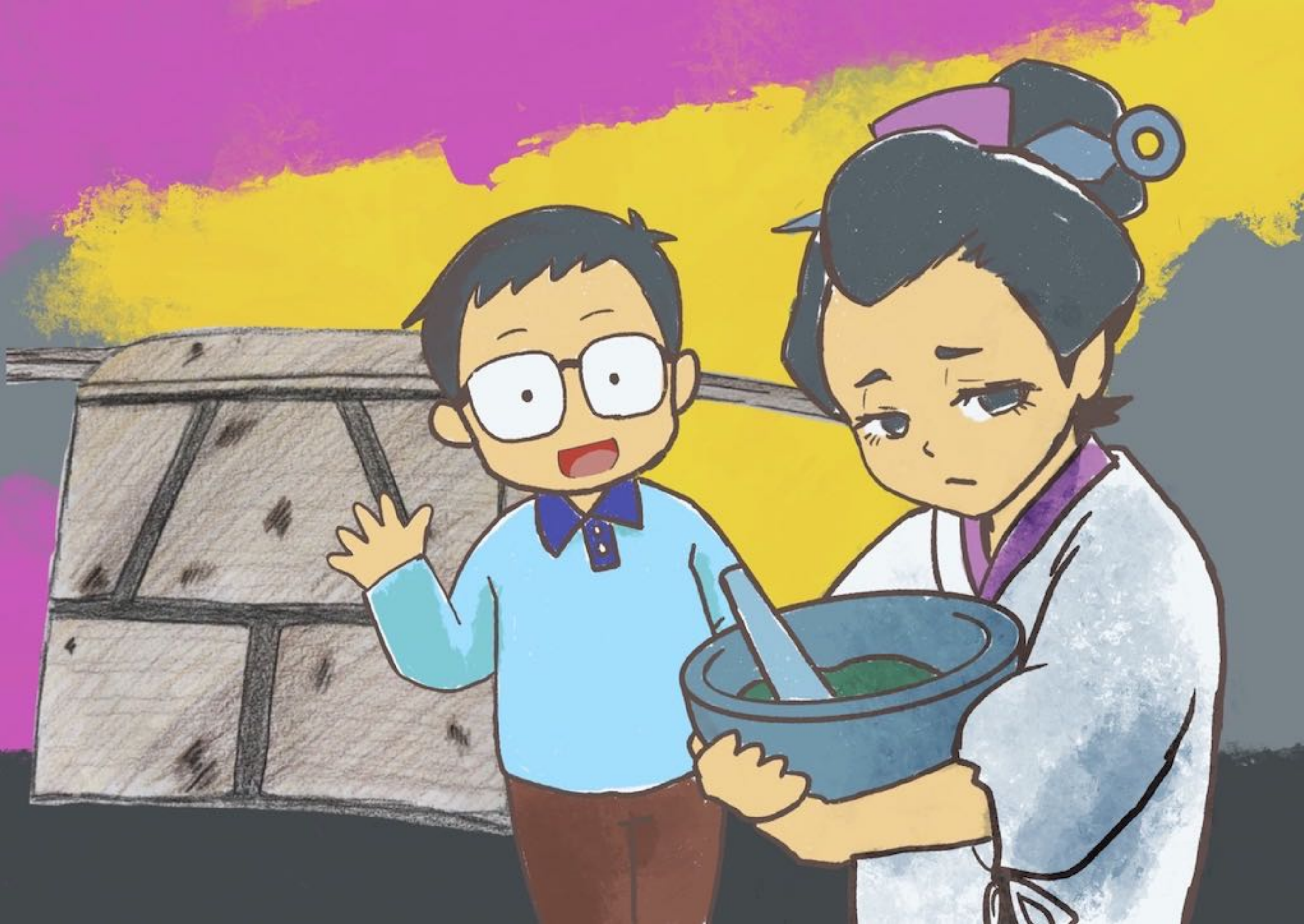
おやめなさい



さむらい けらい はげしくたたか
侍と家来が激しく戦います。
どちらも、一歩もゆずりません
いっぽ
おやめなさい

代官屋敷の奥から
女のお医者さんがでてきました。
その隣には、連れ去られた友だちもいます。





このお医者さんこそ、
忍者たちがさがしていた人でした。

このお医者さんは、代官に頼まれて
忍者の村にある薬草を使つて薬を作っていたのでした。
カゴと一緒に連れて来られた友だちは、
そのお手伝いをしていたのです。



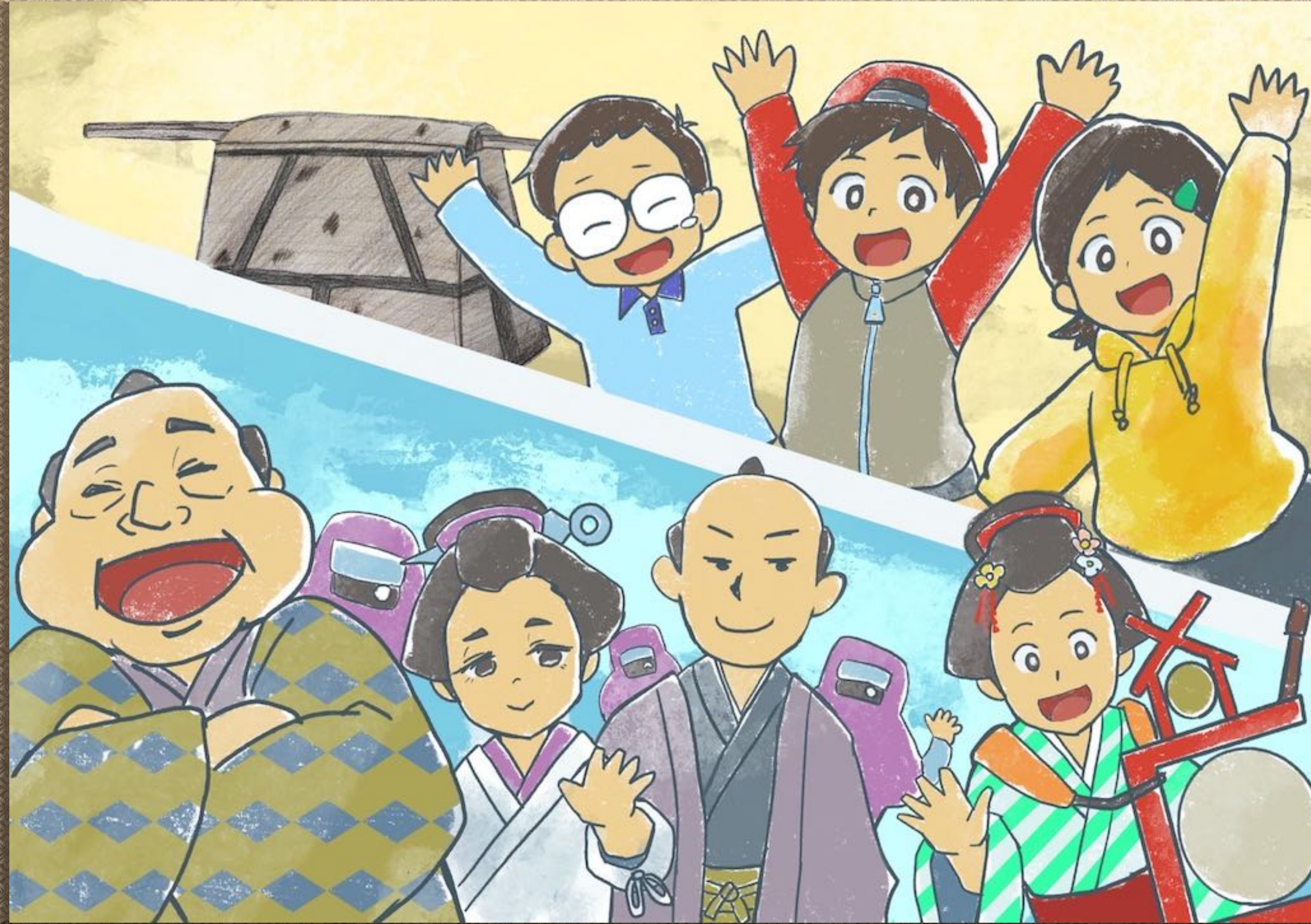
代官^{だいかん}が町^{まち}の人^{ひと}たちからいろんなものを
取りあげ^とていたのは
薬^{くすり}の材料^{ざいりよう}になるものを探^{さが}していただけだったのでした。



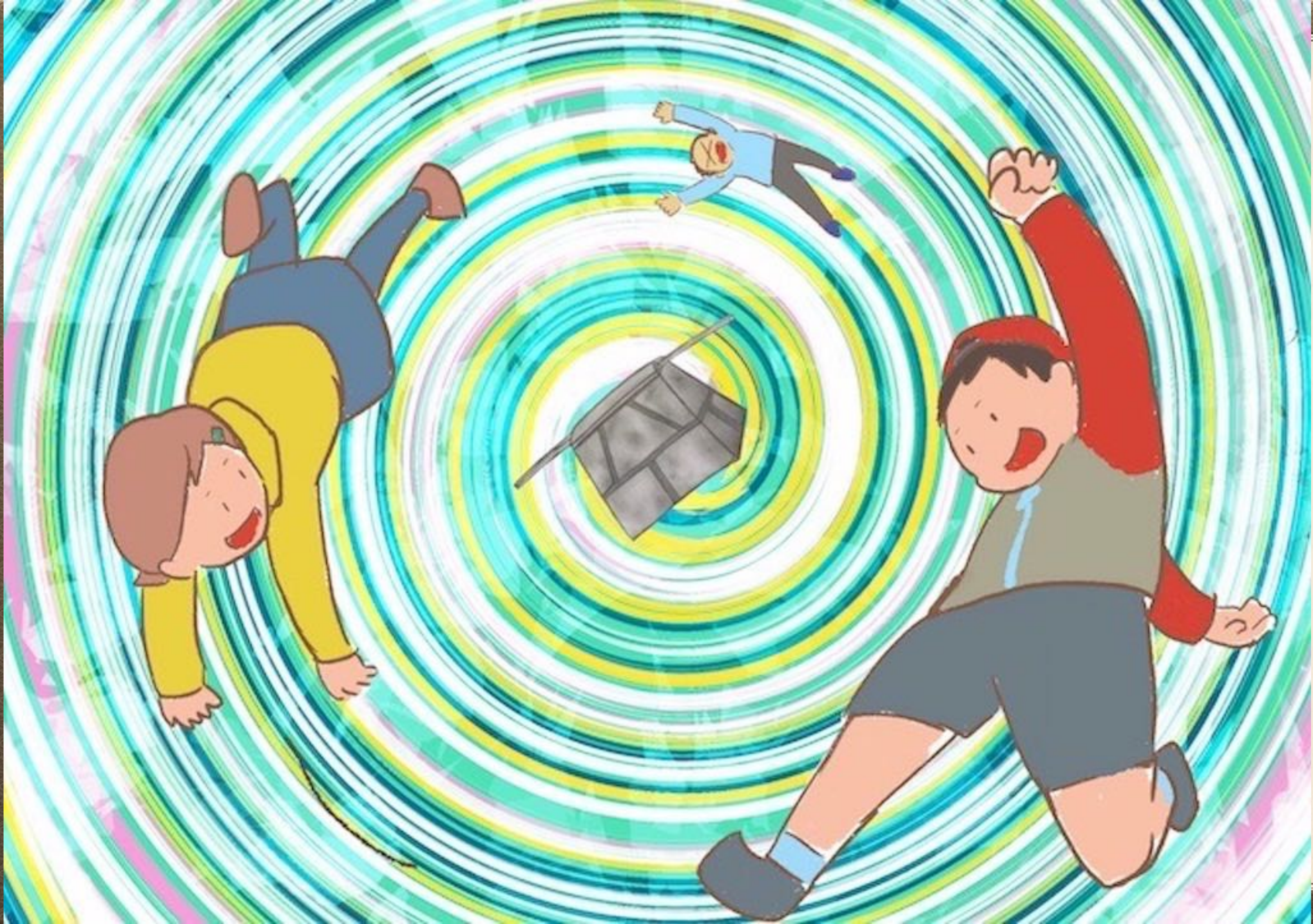
代官^{だいかん}はできあがった薬^{くすり}を町^{まち}の人^{ひと}たちに配^{くば}り
はやり病^{やまい}を治^{なお}してあげました。



とも
友だちも無事帰ってきました。
げんき
元気になった江戸の町の人たちとも
わか
お別れです。



子どもたちは来た時と同じようにカゴに触れて
元の時代に帰ることができたのでした。



おしまい

